



つやま農業便 2022



表紙写真について



- ①スマート農業研修会
(ラジコン草刈機の実演)
- ②きゅうりの個別指導
- ③環境制御装置の製作
- ④ピオーネ
- ⑤いちご
- ⑥りんどうの栽培研修会
- ⑦小麦
- ⑧りんどう

裏表紙写真について



- ⑨晴苺
- ⑩ピオーネ
- ⑪きぬむすめ
- ⑫アルストロメリア
- ⑬アスパラガス
- ⑭シャインマスカット
- ⑮つやま和牛

目次

活動の紹介

作物	津山地域の水田農業における新たな取組 ……………	1
果樹	新たな力と技術でぶどう産地を支援 ……………	3
野菜	多彩な取組！つやまの元気野菜 ……………	5
花き	花き産地の活性化・新規栽培者の確保に ……………	7

力を入れています！

地域資源	6次産業化の取組を支援しています ……………	9
	「あぐり女史の会」の活動を紹介します ……………	10
畜産	第12回全国和牛能力共進会 ……………	11

鹿児島大会出場！

経営	SNSを活用した販売手法研修 ……………	12
----	----------------------	----

新任農業士・就農アドバイザーの紹介 13

新規就農者の紹介 14

各種表彰受賞者・団体 17



津山地域の水田農業における新たな取組

水稻栽培におけるドローン等の活用による省力化

普及指導センターは、被覆肥料のプラスチック製の流出防止対策と米価の下落や肥料価格の高騰に対応した低コスト・省力化技術の栽培実証に取り組みました。

被覆肥料を使用しない分施肥体系における穂肥施用の省力化のために、ドローン散布と水口から流し込む肥料による追肥を行いました。

ドローン散布の作業時間は10a当たり約10分、流し込み肥料は設置後、約2時間で施肥を行うことができ、追肥作業の省力化になりました。

しかしながら、流し込み肥料を施肥したほ場では、葉色ムラが見られたため、流し込み肥料を設置する場所や入水の量を改善する余地があると考えられます。



写真1 ドローンでの肥料散布(品種「きぬむすめ」)



写真2 設置した流し込み肥料

ラジコン草刈機の実演会を開催

津山市神代のほ場で、ラジコン草刈機の実演会を開催しました。

津山地域大型稲作研究会員や集落営農法人のリーダーらが参集し、3社5機種のラジコン草刈機について、メーカー担当者から説明があった後、各機種による作業を見学しました。

コントローラによる操作を実際に体験することができ、ラジコン草刈機のメンテナンス等について活発に質問が出ました。

今後も畦畔の効率的な管理方法について検討していきます。



写真3 スマート農業技術研修会

農家コメント

思っていたよりもラジコン草刈機の操作が簡単だった。

水稻の被覆肥料殻流出対策として代替肥料による栽培実証を実施

近年、被覆肥料のプラスチック殻が河川等へ流れ出すことによる環境への影響が懸念されています。そこで、代替肥料を用いた栽培実証を行いました。

中生品種「きぬむすめ」で、硫黄コート肥料（鏡野町）及びウレアホルム肥料（美咲町）の実証を行ったところ、いずれも慣行の被覆肥

料に比べると収量が下回る結果となりました。各代替肥料区とも出穂期に葉色がやや薄くなる傾向が見られました。

今後も品種に応じた代替肥料の実証を行い、環境に配慮した栽培方法を検討・推進していきます。



写真4 実証ほの田植同時施肥作業

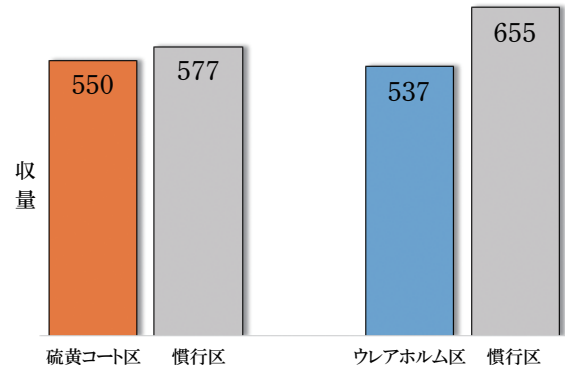


図 代替肥料実証における収量の比較 (kg/10a)

高品質なパン用小麦栽培で、ブランド化推進

津山地域ではパン用品種「せときらら」と菓子用品種「ふくほのか」の2品種の小麦が栽培されています。近年は、実需者からの要望が多い「せときらら」の作付けが増えており、実需者が求める品質を目指して栽培技術の向上に取り組んでいます。

パン用小麦は製パン適性を上げるため、タンパク質含有率の向上が求められています。「せときらら」は、開花期（4月下旬頃）に実肥の施用が必要ですが、現地講習会等で繰り返

返し施用を呼びかけることで、タンパク質含有率は年々向上しています。しかし、肥料の散布は生産者の作業負担が大きいいため、緩効性肥料を用いた省力化技術の実証も行っています。

また、津山産「せときらら」を用いたパンは、モチモチとした食感が強みであり、津山産小麦の知名度向上に向け、関係機関と連携してマーケティング活動に取り組み、地域内での流通拡大を目指しています。



写真5 播種前研修会



写真6 小麦活用ワークショップ

新たな力と技術でぶどう産地を支援

新規就農者の育成

ぶどう栽培を始めて間もない生産者と栽培予定者を対象に、「ぶどう初心者の会」を年間6回開催しています。会の参加者は、異なる地域の生産者から栽培技術や経営状況について、情報を直接得ることができます。また、参加者同士でお互いに疑問点を聞くこともでき、産地間交流も図られています。

美咲町は、ぶどうの新規栽培者の確保及び生産振興を目的に平成17年度から「濃農クラブ」を開催しています。今年度は8回の講座を行い、29名が受講し、普及指導員が栽培管理について講習を行った後、実際に作業を行い、技術の向上を図っています。

参加者コメント

ぶどう栽培の基本が身についた。
昨年よりぶどうの品質が良くなった。



写真1 房づくりの実地指導(ぶどう初心者の会)



写真2 土壌改良資材混和による土づくり(濃農クラブ)

STOP 鳥獣害！市販資材でぶどうを守る！

JA晴れの国岡山津山ぶどう部会は、地域内で増加している鳥獣被害の対策に取り組んでいます。今年度は、電気柵などを利用した侵入防止対策ではなく、ぶどうの果房を直接被覆する「果実保護ネット」による食害防止対策の実証を行いました。

市販資材の寒冷紗で果房を列状に被覆して保護した結果、ピオーネの果実品質を維持した上で食害から防ぐことに成功しました。

鳥獣害対策は、ほ場ごとに有効な対策技術が異なるため正解がありません。各種対策技術のメリット・デメリットを把握した上で園地に適した対策の導入を進めていきます。



写真3 実証ほどの「果実保護ネット」の設置

実証農家コメント

品種によっては着色への影響が心配。
被害軽減効果は実感できたので、今後も活用していきたい。

「シャインマスカット」の高品質生産技術について

津山地域で高品質生産を実践している農家の栽培管理や生育状況を調査した結果を報告します。

- ① 糖度上昇がスムーズに進む樹は、果粒軟化始めの糖度が高い傾向が認められました。
- ② 果房重が大きくなると、糖度不足になりやすい傾向が認められました。
- ③ 優良園の新梢の太さや葉の大きさは、中庸であり、新梢が太く、葉幅が広すぎることはありませんでした。葉色は先端まで濃く充実していました。

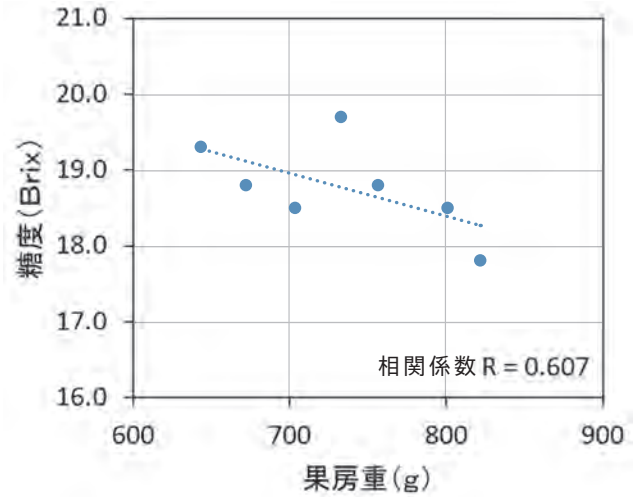


図1 果房重と糖度の関係

表1 優良園の果実品質と着果量

果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (Brix)	着果量 (kg/10a)
733	17.3	18.8	2,202

表2 優良園の新梢の特徴(果粒軟化期)

新梢の太さ(mm)		葉幅(cm)		葉色(SPAD値)	
基部	第5節	第5節	第9節	第5節	第9節
12.3	11.3	23.2	24.6	48.8	47.5

久米南のぶどう新規就農者の確保に向けて！

JA晴れの国岡山久米南ぶどう部会は、担い手育成、新技術導入を進めながらぶどう生産拡大に取り組んでいます。平成20年頃から新規就農者の受入を積極的に進め、令和4年度までに24人が新たにぶどう栽培を始めています。

新規就農者の受入や経営規模拡大によりぶどう園が不足してきたことから、令和2年度から休耕田を活用し、ぶどう園6.8haの造成、ぶどう棚の整備を進めています。

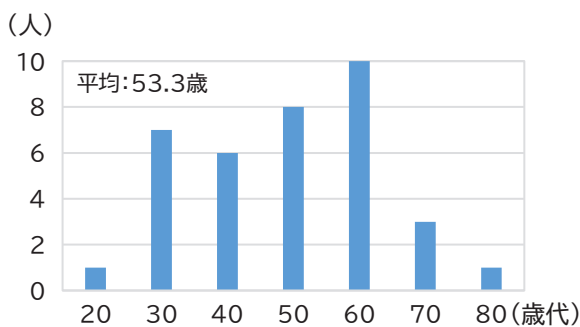


図2 部会員年齢構成 (R3年)

※H20年の部会員の平均年齢は63.4歳



造成前

(R2年1月)



造成後

写真4 造成前後の様子

(R4年3月)



多彩な取組！ つやまの元気野菜

アスパラガス新規栽培者の確保と育成

普及指導センターは、地域内の新規栽培者を掘り起こすため、JAと連携して、栽培の特徴や共同選果システムなどを学ぶ現地見学会を開催しました。

また、栽培を始めて1年目、2年目の生産者を対象に、初心者講習会を開催しました。技術レベルの早期向上を目指して、支柱立てなどの作業を解説した動画を作成し、現地での実演と動画の視聴でわかりやすい講習になるよう工夫しました。

参加者コメント

来年からアスパラガス栽培に取り組みたい。

色々話を聞いて大変勉強になった。



写真1 現地見学会の様子



写真2 栽培2年目の生産者を対象とした立茎講習会

久米南キュウリ部会 LINE で迅速な情報共有

JA晴れの国岡山久米南キュウリ部会は、適期管理・適期防除の呼びかけと技術レベル向上を目的に、部会員限定LINEオープンチャットを開設しました。

普及指導センターから病害虫の発生情報や対策を発信し、JAから市況情報や講習会を通知します。また、生産者間での情報交換も頻繁に行われ、仲間づくりのツールとしても活用しています。

利用者コメント

迅速に情報が手に入るため管理にすぐ活かせる。

先輩農家に気軽に質問できる。



写真3 部会 LINE での情報共有

期待大！いちごのアザミウマ類被害を天敵+αで抑える！

近年、いちご促成栽培ではハダニ類への天敵導入技術が普及していますが、春から飛び込みの増えるアザミウマ類対策に苦慮していました。そこで他県の試験成績を参考に、鏡野町いちごハウスの令和3年定植作で次の対策に取り組みました。

- ①天敵(リモニカスカブリダニ)の秋放飼
- ②天敵放飼前とアザミウマ類飛び込み増加前の殺虫剤(ベネビア OD) 散布
- ③ハウスサイドの防虫ネット



写真4 静置した天敵製剤リモニカ(左)
ハウスサイドの防虫ネット(右)

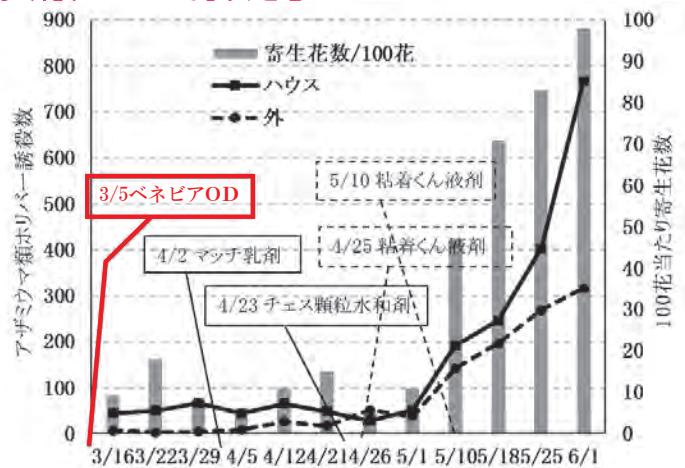


図1 アザミウマ類ホリバー青粘着板誘殺数と100花当たり寄生花数

その結果、5月中旬からハウス内外の青色粘着板への誘殺数やアザミウマ類寄生花数は急増しました。しかし、6月初旬の収穫終了までアザミウマ類による被害果はほとんど発生せず、増収につながりました。

実証農家コメント

令和2年作はアザミウマ類の被害が多くて困っていたが、令和3年作はこの方法で抑えられた。
令和4年作も取り組む。

きゅうり品種比較試験で高収量・高品質化を目指す！

きゅうりの高収量・高品質化を目指して、JA 晴れの国岡山久米南キュウリ部会は、新品種「TCU-162」と慣行品種「TCU-093」の比較実証を行いました。

生育は、慣行品種と大きな差はなく、摘心後の草勢や病害虫の発生も同程度でした。



写真5 TCU-093(左)とTCU-162(右)

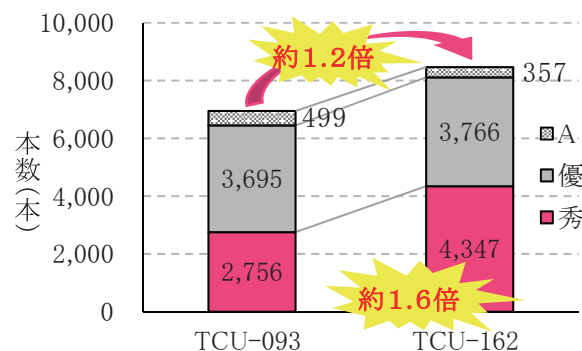


図2 10a 当たりの等級別総出荷本数

収量は、慣行品種より実証品種の方が、総出荷本数は約1.2倍多く、秀品の割合は約1.6倍高くなりました。

その結果、部会は「TCU-162」を有望品種として推進していきます。

実証農家コメント

病気に強く、果形も収量もよし。
令和5年作は「TCU-162」だけに栽培品種を絞ってもよい。



奥津花卉生産組合

加茂シキミ生産組合

つやま地域リンドウ研究会

花き産地の活性化・新規栽培者の確保に力を入れています！

管内の花き産地は生産者の高齢化や減少により産地規模が縮小しています。各生産組織の産地の活性化や新規栽培者の確保に向けた取り組みを紹介します。

加茂シキミ生産組合

放置園の活用に向けて、ほ場マップを作成

加茂地区のシキミ生産は30年以上の歴史があり、全量契約出荷で販路も確立しています。一方、栽培をやめた放置園が増えています。

シキミは定植してから収穫できる大きさの樹になるまでに5年以上かかります。しかし、放置園を再生すれば新規栽培者でも短期間で収穫できます。そこで、放置園の活用に向けて園地マップ作成に取り組みました。

組合長やJA担当者らと巡回し、組合員や元組合員の園地の状況や規模を把握しました。栽培園と放置園を色分けすることでほ場を整理し、放置園については活用に向けて園主に意向調査を行いました。令和5年度は、調査結果を元に活用に向けた体制を整備していきます。



写真1 元組合員の園地巡回



写真2 園主への意向調査

奥津花卉生産組合

役場で産地の花をアピール

鏡野町は、昭和46年から花き栽培が盛んに行われており、歴史のある産地ですが、栽培者が減少し産地の維持が課題となっています。近年は若い生産者を中心に町産花きのPRを行い、新規栽培者の確保に力を入れています。

令和4年度は、6月13日から9月9日まで鏡野町役場の正面玄関に産地の花を展示しました。昨年度は大きなアレンジメントを1週間展示しましたが、今年度は、展示期間を延長し、組合員が当番制で花を提供す

ることで、週替わりで様々な花が並びました。

あわせて、栽培者募集ポスターやケーブルテレビで呼びかけ、栽培者の確保を図りました。次年度以降も町・JAと協力して、継続していきます。



写真3 鏡野町役場での展示

6次産業化の取組を支援しています

普及指導センターは、農林水産物等の生産及び加工・販売を一体的に行う6次産業化に取り組む農業者の事業計画の作成や経営改善、ECサイト(インターネット上で商品を販売するWEBサイト)の活用などを支援しています。

月本果樹園の総合化事業計画が認定

月本果樹園(代表:月本幸常)は、6次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画の認定を6月末に受けました。

普及指導センターは、総合化事業計画の認定に向け、委託醸造先との調整や事業計画の作成などを支援しました。

代表コメント

県内初となるクイーンニーナのワインができた。ワインを通じて、久米南町のぶどう産地をPRしていきたい。



写真1 月本代表とスタッフ



写真2 認定書の授与

ECサイトを活用して売上UP

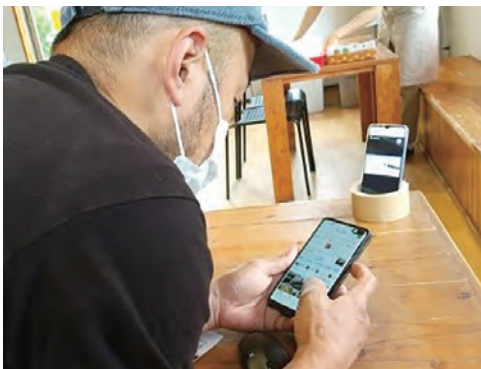


写真3 ECサイトでの販売に挑戦



写真4 百貨店バイヤーに説明

6次産業化に取り組む農業者は、新たな販路としてECサイトでの販売に挑戦しています。

普及指導センターは、6次産業化DX活用推進事業を活用し、オンラインショップでの試験販売や、SNSでの情報発信などの取り組みを応援しています。

農家コメント

ECサイトでの販売に挑戦することができた。

集客につながるよう積極的にSNSで発信していきたい。



「あぐり女史の会」の活動を紹介します

あぐり女史の会は、「女性農業者が気軽に話し合える場を設けよう。」と、普及指導センターが、20～40代の女性農業者に声を掛け、平成25年から活動がはじまりました。

「農業で輝いて、自立した女性を目指そう！」を合言葉に、毎年、「自分たちが学びたいこと・やりたいこと」について意見を出し合い、プロジェクトを実践しています。

令和4年度プロジェクト「食べ比べ大研究」

自分たちが生産する農畜産物や加工品の特徴を把握するため、津山市内の飲食店と協力して、他産地の牛肉や、冷凍果実、ジャムの食べ比べを行いました。

会員コメント

調理方法で牛肉の味が全く違い、我が家で牛肉を調理するときは煮込みが合うことがよく分かった。

他の商品との違いがはっきり分かった。違いを上手にPRに活用したい。



写真1 冷凍果実の食べ比べ

「食でつながる交流会」をプロデュース

「食に携わる人たちと横のつながりを持ちたい。」という声から、食品業者等と「食でつながる交流会」を開催しました。

グループに分かれて、活動内容や販売している商品について活発に意見交換しました。

参加者コメント

食に携わる様々な人とつながりができた。

今まで知らなかった情報を得られた。

とても有意義な集まりだった。



写真2 食でつながる交流会

第12回全国和牛能力共進会

鹿児島大会出場！



鹿児島全共を終えて・・・

5年に1度開かれる「和牛オリンピック」と呼ばれる「第12回全国和牛能力共進会」(以下、全共)が、10月6日～10日に鹿児島県(霧島市ほか)で開催され、41道府県の代表牛が集結し、改良の成果が競われました。

種牛(雄・雌)の姿・形、体型等を審査する「種牛の部」には、岡山県内からは13頭、うち津山地域から6戸8頭が出品されました。



写真1 全共審査会場の様子

出品対策が本格化する令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、生産者の方々と関係機関の連携が困難な状況に陥ることもありました。そのような中でも工夫を重ね、優良牛の作出と丁寧な飼養管理・指導、慎重な選抜を経て、鹿児島全共行き切符を手にすることができました。

また、大塚毅団長を中心とする岡山県出品団は、開催の数日前から鹿児島入りし、早朝から夕方遅くまで、牛の世話や調教練習等の最終調整を行い、本番に臨みました。



写真2 第2区(若雌の1) 審査風景

今大会では、岡山県出品団は抜群のチームワークを発揮し、出品者の方々の高い育成技術、そして他県の追随を許さない卓越した調教技術により、岡山和牛の能力、素晴らしさを全国にアピール出来た5日間でした。

津山地域代表牛の出品区分と成績については下の表のとおりです。

出品者の皆さん、牛の作出から大会出場まで長い間お疲れ様でした。

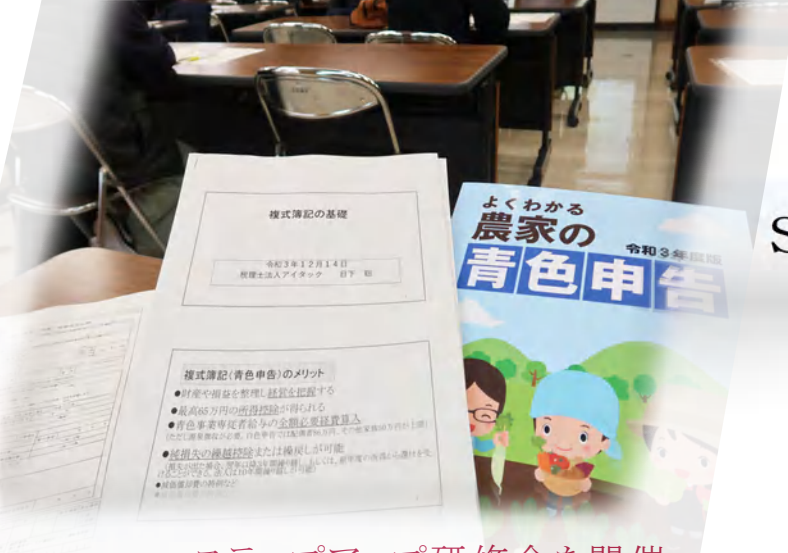


写真3 岡山県出品団集合写真

表「種牛の部」津山地域代表牛成績一覧

出品区	出品牛	出品者	成績
第2区(若雌の1)	むねやまぶき	築山 健(鏡野町)	優等賞10席
第3区(若雌の2)	8しんちよ819	井原 亨(津山市)	1等賞2席
第4区 (系統雌牛群)	かんげつ 29もとかんげつ さわかんげつ	藤原 知(津山市) 武中 建治(美咲町) 石本 省二(津山市)	1等賞3席
第5区 (高等登録群)	かんげつ60 あきかんげつ はなかんげつ	大塚 毅(津山市)	1等賞6席

SNSを活用した販売手法研修 (ステップアップ研修会)



ステップアップ研修会を開催

10月26日に美作県民局で「あぐり女史の会」及び認定農業者を対象に、農業における女性活躍推進活動としてステップアップ研修会「SNSを活用した販売手法」を開催し、直売や6次化に取り組んでいる7名が参加しました。

今回の研修では、(株)Orb の河井七美氏を講師に迎え、「ファンづくりにつながるSNSの活用方法」をテーマに、インスタグラム(Instagram)を活用した商品紹介やハッシュタグの選定方法、ライン(LINE)での情報発信などについて学びました。



写真 講師を囲んで活発な意見交換

参加者コメント

ファンづくりには投稿をし続けることが大切だとわかった。

参加者コメント

ネット販売に向けて研究したい。

帰ってすぐにLINE 公式アカウントを取得する。

認定農業者を対象とした研修

普及指導センターは、農業経営の改善・発展に役立てるため労働力の確保、従業員への教育、農業経営を後継者等へ譲るための準備、パソコン簿記に関する研修会を開催し、認定農業者等の資質向上に取り組んでいます。

事業継承に向けた研修

経営を後継者に譲るための考え方、税法上の要件など、経営継承への準備に関すること

労務管理研修

安定した労働力確保に向けた就業規則、社会保険制度など安心して働く環境づくりに関すること

パソコン簿記研修

パソコンソフト「ソリマチ農業簿記」を活用した簿記に関すること

新任農業士の紹介

令和4年度に農業士に認定された方をご紹介します

いけがみ ふみこ

池上 布美子 さん(美咲町)【基幹品目:露地野菜】



現在、美咲町を拠点に、県の南北に約15haのほ場で、加工用キャベツの周年栽培を柱とした経営を行なわれています。また、各地域・気候に合った野菜を、10～20aの面積の中で約20種類栽培し、産直ショップ等に出荷されています。

さらに栽培については、化学肥料低減のため、バーク堆肥・鶏糞肥料を使用し、各地域に合った土壌改良を行なわれています。

今後は農業士として、鳥獣被害・高齢化などによる労働力不足・販路拡大など、各地域の農業課題の解決に協力できるよう頑張り、新規就職先として農業が魅力的で儲かる職業に位置づけられるようにしたいと抱負を語られています。

就農アドバイザーの紹介

農業経営や栽培技術、コミュニティ活動等に優れる農業者の方が就農アドバイザーとして登録され、就農希望者への就農相談活動や新規就農者への助言等を行っています。

(任期:令和4年9月～令和7年8月)

市町村	氏名	基幹品目
津山市	中西 啓	ぶどう、野菜
	鈴木 妃奈	ぶどう、いちご
	藤田 翔大	野菜苗、野菜
	森山 真一	ぶどう、水稲
	小山 等	水稲、麦
	井原 亨	肉用牛、水稲
鏡野町	新免 康弘	アスパラガス、水稲
	石原 寿典	ユリ、りんどう

市町村	氏名	基幹品目
久米南町	青山 仁	ぶどう
	石澤 好生	ぶどう、いちご
	光元 一郎	きゅうり、水稲、野菜
	杉本 隆志	きゅうり、水稲
美咲町	稲岡 郷三	ぶどう
	武村 年充	ぶどう
	林田 昌明	ぶどう
	神原 正年	ぶどう

新規就農者の紹介

45歳未満で就農、もしくは実務研修修了後に就農された方を掲載しています

たかた じゅらい

高田 受来 さん(津山市)【基幹品目:ぶどう】



元々家族で稲作をしていましたが、母が癌になり継続出来なくなり、一度農地を他の方に貸し出しましたが、自分で管理して守っていこうと思い、新規就農を経てぶどうをメインに他のフルーツも作っていきたいと思っています。イベントなどを用いて地域を盛り上げつつ規模を拡大して行こうと思っています。

ふくはら もとお

福原 資雄 さん(津山市)【基幹品目:豆類、水稻、野菜】



前職はサラリーマンをしていましたが、農業に興味があり、父の故郷である津山で新規に就農しました。

まだまだ失敗も多いですが、新しい経験だらけで、日々楽しく農業をしています。

着実に経験を積み、一人前の農業者になれるように頑張っていこうと思っています。

くわばら しょうぞう

桑原 勝三 さん(津山市)【基幹品目:ぶどう】



以前は建築関係の仕事を25年ほどしていましたが、ぶどう栽培の魅力に勝てず就農をすることにしました。この3年間は、ほぼ毎日ぶどうのことを考えて生活してきました。そのかいあって、それなりにぶどうの知識が身に付いたと実感しております。

今、仕事がすごく楽しいです。あ〜就農してよかった。

なかがわ りゅういち

中川 竜一 さん(鏡野町)【基幹品目:水稻、梨】



県南で看護師をしていましたが、医療を通じて食の大切さに気づき、農業をするために鏡野町に移住を決意しました。

現在は、米・梨の直売や愛宕梨を使ったブランデーケーキなどの加工販売をしています。

コロナ禍で大変な時期ではありますが、農家の強みを活かした『おいしいもの』を、instagram『中川農産』で発信し、人と人との繋がりの大切さを日々痛感しています。

いしい さとし

石井 聡 さん(鏡野町)【基幹品目:ぶどう、桃、水稻】



三重県でサラリーマンをしておりましたが、以前より農業に興味があり、家内の実家で営んでいる農業を継承することとなりました。

農業の先輩方に御指導いただきながら、よりよいものをお届けできるよう頑張っていきたいと思います。

くらなが ひろゆき

倉永 博行 さん(鏡野町)【基幹品目:酪農】



津山市の大規模肥育農家に勤務していましたが、妻の実家が酪農を行なっていることから退職し、義父母から乳牛の飼育に関する技術指導を受け、令和4年1月に経営を引き継ぎました。

コロナ禍、飼料高騰などにより厳しい経営状況が続きますが、義父母が作り上げてきた牧場をしっかり守りさらに発展させていけるよう家族で支え合っていきたいと思います。

学ぶべき事は沢山ありますが、自分で調べたり助言を受けることを躊躇せず人に甘えながら、いつかお世話になった方々に恩を返せるように頑張っています。

かげやま よしひこ

景山 慶彦 さん(久米南町)【基幹品目:ぶどう】



大学を4留した挙げ句除籍。協調性皆無で碌な仕事ができず人生終わりにかけた自分を拾ってくれた奇特新妻が農業志望なので、なんとなく付いてきた久米南町。幼少の頃、砂場遊びが大嫌いで農業なんて絶対やらないと思っていたが、ぶどうやってみたら、一日 youtube を聞きながら誰とも話さなくて仕事出来るなんて天職だ！他人と力を合わせる仕事なんてない。全て自分の裁量でできる。もしかしたら、年収1000万も夢じゃない！？楽しみしかありません！

いとう なおや

猪頭 直弥 さん(久米南町)【基幹品目:ぶどう】



就農のきっかけは、前職の頃に、新規就農した知人のぶどうの栽培管理を手伝う中で、知人の農業に対する考え方や経営方針に触れ、自分でも農業経営を始めてみたいと思ったことです。1年間の農業実務研修を受け、令和4年4月にぶどうで就農しました。

現在は20aの成園ですが、将来は60aを目標に、高品質なぶどうを栽培したいと思います。

みずの たつひろ

水野 竜完 さん(久米南町)【基幹品目:ぶどう】



研修先の師匠や先輩農家さんたちに恵まれ、新規就農者として独立する事ができました。

今後は頂いた恩をお返ししながら、さらなる規模の拡大、資金運用や作業効率の向上、人材の確保など経営者としての視点や意識を持ち、さらに発展、成長できる様に行動していきます。

くわな ひでき

桑名 秀樹 さん(久米南町)【基幹品目:ぶどう】



50歳を過ぎ、最後は好きな果物に携わる仕事がしたいと思い、岡山県移住セミナーに参加し、久米南町で就農することに決めました。

予想通り、かなり体力を求められますが、周りの方々のお力を借りながら、初収穫を迎えることができました。

これからは、少しずつ規模拡大を見据えながら、地域貢献が出来ればと思っております。



岡山県マスコット「ももち・うらっち」

表彰を受けられた方々

令和3年度 農山漁村女性活躍表彰 経営局長賞

すずき ひな
鈴木 妃奈 さん（津山市）

平成22年に就農後、平成26年に有限会社まほら代表取締役に就任し、観光農園の運営や6次化商品の開発など、様々な事業に取り組むとともに、女性従業員の働きやすい環境づくりも進めています。

また、県の就農研修事業による研修生を積極的に受け入れ、新規就農者の確保・育成に尽力されています。

若手女性組織「あぐり女史の会」に参画して、技術向上に向けた研修やイベントを企画、地域農業の発展に貢献しています。



令和4年度 農林漁業功労者 農林水産部長表彰

に き しょうすけ
仁木 紹祐 さん（津山市）

平成5年から家族経営に参画して以来、地域農家の信頼を得ながら農地の集積を進め、県北有数の大規模稲作経営を行っています。

販売面では、地元スーパーや学校給食等へ米を直接販売するなど、地産地消の取組に力を入れています。

また、農業後継者クラブやJA青壮年部での活動経験を活かして就農希望者や若い農業者の相談に乗るなど、地域農業の担い手育成に大きく貢献されています。



令和4年度 農林漁業功労者 農林水産部長表彰

いはら とおる
井原 亨 さん（津山市）

人工授精受託組織の結成及び運営に尽力され、地域の家畜改良レベルの向上と農家の所得向上に寄与されました。

また、模範的肉用牛繁殖経営者として、耕畜連携によるイタリアンや稲WCSの利用等の取組の実践に加えて、畜産共進会における県出品団の指導者として出品対策に尽力され、本県畜産の発展に大きく貢献されました。



令和4年度 畜産功労者知事感謝状

ふくしま やすひと
福島 康仁 さん（津山市）

酪農経営の傍ら、地域農家の高齢化及び飼料価格高騰に対処するため、コントラクター組織の設立・運営に尽力し、本県の自給飼料確保に寄与されました。

また、模範的酪農経営者として、低コストで効率的な酪農経営の実践に加え、多年にわたり地域酪農団体の指導者として、地域酪農振興の発展に尽力され、本県畜産の発展に大きく貢献されました。



令和4年度 畜産功労者知事感謝状

よしはら けんいち
吉原 謙一 さん（津山市）

多年にわたり酪農組合の指導者として、組合の指導体制の強化及び効率化に尽力し、本県の酪農経営の改善に貢献されました。

また、模範的酪農経営者として、牛群改良及び飼養管理の技術を向上させるとともに、地域のリーダーとして地域酪農振興の発展に尽力され、本県畜産の発展に大きく貢献されました。



令和4年度 岡山県うまいくだもの共進会

【ピオーネの部】

優秀賞 みつい けんた 光井 健太 さん（美咲町） 奨励賞 もりうち かつみ 森内 克美 さん（津山市）
奨励賞 おだ まさき 尾田 雅紀 さん（久米南町） 奨励賞 なかむら かずみち 中村 和道 さん（津山市）

【オーロラブラックの部】

岡山県農業共済組合長賞 まつかわ あきのり 松川 晃典 さん（久米南町）

全国知事会の先進政策バンク（美作広域農業普及指導センター）

令和4年度デジタルソリューション・アワード優秀政策に選定

「地元高専と農業イノベーション！～誰でも簡単、
（ぶどう・トマト）DIY型システムの開発～」

農産物の生産性と品質の向上を図るため、農業者、津山工業高等専門学校、普及指導センター等でコンソーシアムを構築し、農業者自らが製作・管理が可能で安価な「ぶどうハウス内環境遠隔制御システムとトマトの自動集計秤のDIY型システム」の開発し、農業分野のDXを推進しました。

特に、これまで農業との関わりが薄かった高専と情報工学分野の専門知識を有していない農業者との橋渡しを行い、スムーズな開発につなげたことが高く評価されました。



〒708-8506 岡山県津山市山下53

岡山県美作県民局農林水産事業部

美作広域農業普及指導センター

革新農業推進班【花き・6次産業化・農業経営】 TEL(0868)23-1496・1513

担い手・農産班【作物・担い手育成・集落営農】 TEL(0868)23-1524

園芸第一班【果樹】 TEL(0868)23-1516

園芸第二班【野菜】 TEL(0868)23-1525

FAX (0868)23-5962

E-mail tsuya-fukyu@pref.okayama.lg.jp

HP <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/120/>



HP：美作広域農業普及指導センター

農畜産物生産課

畜産第一班 TEL (0868)23-1310

FAX (0868)24-4962

E-mail mima-norin@pref.okayama.lg.jp

HP <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/119/>



HP:農林水産事業部